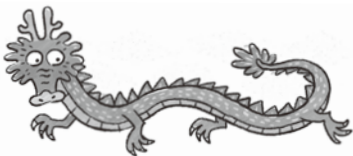




「3歳児も入れない!」——区が認可保育園の増設を怠ってきたことを指摘しながら待機児解消策を緊急要望する区議団（11月24日子ども家庭部長室）



決意新たに

2012年の幕が明けました。政府は社会保障を後退させる一方で、消費税は2倍の負担増へと庶民いじめを強行しようとしています。足立区もまた、追い討ちをかけるように区民への負担増と区民施策切り捨ての条例を次々に提案しています。今年、日本共産党は創立90年を迎えます。創立以来「国民が主人公」を貫き、庶民のくらし応援の立場で奮闘しています。区民の切実な願いを実現し、希望が持てる政治にするため決意新たにがんばります。

12月議会で積極提案

区民の願い実現の先頭に!

日本共産党

放射能 学校給食の測定実現へ

子どもたちが食べる給食について内部被ばくへの不安が高まっています。足立区は「学校及び保育園の給食で使用する食材については暫定基準値を超えたものは流通しておらず健康への影響を心配するものではない」と検査・測定を拒否してきました。

日本共産党はすでに東京23区では11区が測定を行なっていることを、代表質問で取上げ追及。区は「区民に安心感を与えることも重要」「今後は給食食材の検査についてモデル実施する方向」で具体的な検討に着手すると答弁しました。

高齢者の肺炎球菌ワクチン 助成実現の方向へ

肺炎は、4番目に高い死亡原因となっておりその95%は高齢者です。

日本共産党は、三年前から高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について助成を求めてきました。今議会の代表質問では、すでに18区で助成が行なわれていることも示しながら提案したのに対し、区はついに「当区におきましても高齢者に対する大人用肺炎球菌ワクチンの接種費用の助成について検討する」と答弁し、実現の方向となりました。

認可保育園の増設を

介護保険料の値上げストップ

学校統廃合計画を撤回せよ

学校開放有料化はやめよ

今年もみなさんと力あわせがんばります!



都議会議員・都市整備委員
大島 よしえ
《事務所》足立区千住龍田町八-一
☎(三三七九)三六二九

氏名・役職

住所

区議団長・議会運営委員
針谷 みきお

《事務所》
足立区西伊興
四・七・八
☎(三八五五)一五八七

幹事長・総務委員会副委員長
ぬかが 和子

《自宅》
足立区伊興
一・五・三
☎(三八五四)七一五七

政調委員長・子ども施策調査特別委員会副委員長
鈴木 けんいち

《自宅》
足立区青井
一・四・一〇
☎(五八八八)三三三三

副幹事長・災害オウム対策調査特別委員会委員長
さとう 純子

《自宅》
足立区江北
七・三・二二
☎(五六九二)五九五五

政調委員・建設委員会副委員長
伊藤 和彦

《自宅》
足立区花畑
六・二・〇一
☎(三八五九)六九五二

政調委員・文教委員会副委員長
浅子 けい子

《事務所》
足立区千住旭町
二・〇・二二
☎(三八七〇)四五四七

政調委員・厚生委員
はたの 昭彦

《自宅》
足立区大谷田
五・七・一五
☎(五七七一)四〇三三
☎(五七七一)四〇三三
☎(五七七一)四〇三三

くらしの相談は **日本共産党足立区議団へ**

03(3880)5770

日本共産党

足立区議団ニュース

2011年第4回定例区議会報告

発行会派
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 針谷みきお
編集責任者 さとう純子

みなさんのご意見をお寄せ下さい

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ http://www.adachi-jcp.jp/

生業資金貸付の廃止条例**今こそ充実すべき
重要なセーフティネット**

生業資金は零細業者の「命綱」でした。区は貸付要件を厳しくして借り入れが出来ないようにした上で「借りる人が激減したから」との理由で廃止条例

はたの昭彦議員

を提案、自・公・民・みんなの党が強行しました。

日本共産党は「今こそ第二のセーフティネットとして拡充が必要」「生活の安定・福祉の増進を図る責任の放棄にほかならない」と厳しく指摘して存続を求めました。

鹿沼野外レクリエーション施設廃止条例**針谷みきお議員****区民の体験学習・
野外活動の場をなくすな**

近藤区長は「足立区が旅館業を営む時代ではない」としています。しかし同センターは開設以来25万人が利用して、今でも夏は予約が取れないほどの

人気です。日本共産党は野外活動施設は「スポーツや生活体験を通じて健全な心身を形成する」ことを目的としており、旅館ではなく、体験学習・野外活動の場であることを明らかにして存続を求めました。

リサイクルセンターを株式会社に移す条例**さとう純子議員****「区民との協同」を
分断すべきではない**

リサイクルセンターの運営は区と住民団体との協同で実施してきました。環境問題の充実が求められているのに、行政責任を放棄して、マンション管理会

社に事業を託せば区民の協力は得られず、環境・リサイクルの振興にもなりません。日本共産党は「区民との協同の分断・行政責任の丸投げをすべきではない」と指摘し、討論しました。



国の「明日の環境首都」に選ばれた長野県飯田市を調査

切実な願い実現めざして討論**積極的な震災対策と区民を
応援する補正予算を****ぬかが和子議員**

今年度は、東日本大震災直後から始まり、施策の優先度や防災対策も大きく転換が求められ、その後の震災不況にあえぐ区民を支援する積極的な補正予算が必要でした。しかし、今回3回目となる補正予算では19億円、合わせて60億円近く減額し、何

も積極的な手立てを打ちませんでした。また認可保育園もつくらず認可外の小規模保育室ばかり増やし、新田学園第二校舎の用地購入ではURを優遇。これらを厳しく指摘し、積極的な震災対策と区民を応援する施策を強く求めて討論を行いました。

都市農業公園を民間に丸投げする条例**伊藤和彦議員****区民の貴重な体験の場
行政責任を果たすべき**

区立「都市農業公園」は、「身近で自然を体験」と、あだち広報にも紹介される区内四ヶ所のうちのひとつです。園芸相談、NPO有機農業野菜栽培、

工房棟での多様な体験などを通じて、「コミュニティが培われてきました。日本共産党は「区民の貴重な体験の場」「民間に丸投げしないで、行政責任を果たせ」と指摘し、討論しました。

学校開放を有料にしないで！の陳情**浅子けい子議員****地域コミュニティと
生涯学習を応援すべき**

区は、学校開放の有料化を提案。地域の「絆」をこわし、団体を解散に追い込むことになる

はじめ30ものサークルから「有料にしないで！」の陳情が提出されましたが、委員会で自・公・民が反対し否決。日本共産党は、有料化しないように強く求めました。

**パパママかけつけ
見守るなか
継続審議に****認可保育園の増設を求める陳情**

子ども施策特別委員会では深刻な待機児の解消と子どもの健やかな育ちを願って区民から陳情が提出されていますが、今議会で署名は6000名をこえました。

赤ちゃんを抱いた傍聴者からは「共産党以外は一言も発言しないのに驚いた」「他区では認可保育園をどんどん作っている。足立区でもやる気になればできることがわかった」などの声が寄せられました。

鈴木けんいち議員**介護保険料値上げ とんでもない！**

65歳以上の人が納める介護保険料は3年ごとに見直され、来年が見直しの年に当たります。今でも多くの人が「高くて払うのが大変」「これ以上の負担は耐えられない」という状況です。区は来年度からの介護保険料を現在の基準月額4380円から5640円に29%もの大幅値上げとなる暫定案を示しました。公聴会でも「値上げは困る」との反対の声が上がりました。制度発足時月額1605円だった保険料は12年間で3・5倍にもなり、もはや公的保険とは言えるものではありません。区民のくらしの実態を考えれば値上げなどんでもありません。日本共産党は審議会に「保険料は値上げせず、据え置くことができる」と財源を示し提案しました。

足立区の介護保険料の決定権は足立区にあり、保険料の値上げについての審議会は1月末に開催されます。

みなさんご意見、ご要望をお寄せください。

区民を支えるお金はあります

区長は、財政が厳しいと言って、全事務事業の見直しや受益者負担の見直しで、区民施策の廃止と負担増を「断固たる決意で取り組んで」と、驚くような表明をしました。しかし、22年度決算は国の財政健全化基準でもまったく問題はなく、決算財務書類からも、区民一人当たりの負債は19万円、資産は196万円。純資産比率をはじめ各指標も全国平均を上回っており、きわめて豊かです。もともと経常収支比率は全国でも上位クラスの健全度であり、基金総額も過去最高の1082億円、区民の生活を支える基盤は十分あります。

学校統廃合の計画の撤回を

足立区は12から24学級を適正規模と定め、これ以下の小規模校は統合して25年間に最低でも20校、最大でも42校も廃校にする計画を強引に進めようとしています。

今議会で日本共産党は「区は35人学級を前提に学校数を出しているが、30人以下学級になれば学校が不足する」「適正規模が教育上『適性』であるという根拠はない」「廃校は区民の命を守る身近な避難所をなくすことになる」「文部省は『学校規模を重視するあまり無理な統廃合を行うことは避ける』と通達している」など指摘し学校統廃合計画の撤回を求めて質問。区はまともに答弁できず「子どもに目を向けていない」と傍聴者から怒りの声が。

日本共産党は区教委の強引な姿勢は「教育にたずさわる者にあるまじき行為」ときびしく指摘しました。